

ビジネス・ブレイクスルー大学 2023年第2回 第三者評価会議（企業）分科会

日時	2023年 10月4日（水）19:00～20:00
場所	オンライン
議題	1. 【報告】実践マーケティングキャンプ（第1期）進捗のご報告 2. 【議論】委員の方から見える実践マーケティングキャンプ講座の課題や、教育の質向上に向けた本学の取り組み・マーケティング活動について
出席	株式会社インターナル・オーシャン 平沢誠 委員 アクセルフールド合同会社 本間善丈 委員 川崎稔講師（議長）、村田真之助講師、柴田巖事務総長、 【内部質保証室】大谷事務局長、小川教務部長

【議事骨子】

- ・議長から実践マーケティングキャンプの教育目的、カリキュラム概要、主要講座の概要について説明した
- ・委員から、次のような質問が出た
 - － 新規事業の立ち上げとマーケティングのプランニングはどちらにより比重を置いてカリキュラムを設計しているのか。
 - － キャンプを修了した後、参加者は会社に戻ってどういう動きが可能になるだろうか。講座の名称に“実践”とあるが、3カ月でできることは限られており、実務で必要なことは多岐にわたるため。
 - － 最終課題や中間課題などでグループワークの予定はあるのか。
- ・委員からの質問に対して、議長は次のような回答をした

新規事業とマーケティングプランニングに必要なスキルセットはそこまで差がないのではないかと想定している。ただし、新規事業はマーケティング以外にもファイナンスやプロトタイプ制作など他にも必要なスキルは確かにある。その部分は別講座で補うことができるので、募集ページなどで関連性を明示するようにする。

キャンプ終了後は、マーケティングプランの策定および実行できるようになることをゴール設定としている。

グループワークは開講前の現時点では想定はしていない。ただし、似通った属性の受講生が受講されていたり、いくつかの条件が整った場合にはプラス面も大きくなるため、継続的に検討をしていきたい。
- ・実社会におけるマーケティング人材育成の観点からは、本講座の良い点、改善すべき点は次のような発言がなされた

<良い点>

 - － 身近な商材をテーマとして扱うなど、マーケティングを実践的に学ぶ講座としてマ

ッチしているプログラムと感じる

ー 自身も若いころに本講座があれば受講したいと感じたし、社内のビジネスマネージャー層にちょうどフィットしていると感じる

<改善すべき点>

ー 受講後のミスマッチ防止のため、講座の具体的な内容を募集ページへ加えるとさらによいのではないか。

- 議長は次のステップ、および課題について以下を重点項目として申し合わせた
 - ー 各学習者の学習ニーズに応じた学習支援の提供
 - ー 最終課題として適したテーマ選定
 - ー グループワークの導入も含めた満足度向上に寄与する学習体験の設計

- 次回開催は、本講座が修了する来年 24 年 4 月～5 月頃を目途とする事とした

以上